みんなで5・7・5

みんなで創るみんなのページ。すてきな作品をお待ちしています！

又今度　待てど暮らせど　いつだろう　池田よし枝（今・今津）

華やいで　金鶏菊は　咲き集う　洞山千代江（今・南新保）

ウォーキング　少しキツイカ　見張山　能町　寮（高・城山台）

人生は　生ある限り　冒険だ　久米　良彦（新・太田）

妻調理　夫味見で　気絶する　上山　惟裕（高・城山台）

不愛想　ベッピンさんも　台なしや　浅井きぬゑ（高・武曽横山）

現代語　理解に苦しむ　文字ばかり　益本さつき（マ・沢）

未来の子　育む側の　鏡なり　北坂　修（高・武曽横山）

今の世は　キレとネジレで　狂ってる　清水　真夫（今・今津）

スーパーで　見かけたかつての　商店主　西川五磋三（高・高島）

四国の郷　あるじなき家　すすきがおおう　筒井多惠子（今・弘川）

古代史の　謎にひかされ　時忘れ　中村智英子（今・松陽台）

捨てる紙　拾う紙あり　リサイクル　河原田　勝（今・岸脇）

離れたる　孫の写真に　頬ずりす　曽根ケイ子（新・饗庭）

肝心の　用事ききもらす　長電話　斉藤　光江（安・今在家）

太陽に　顔そろえ柿　熟し出す　平井　ちく（朽・大野）

義母逝って　義母に似てきた　妻の仕草　山本喜代治（安・長尾）

荒家も　住めば眩しき　光さす　村田　ナミ（高・勝野）

古希迎え　家族の絆　感謝する　藤森みち子（朽・柏）

子つばめの　渡りいのりつ　糞そうじ　中村　博夫（安・中野）

さざ波や　琵琶湖に遊ぶ　月の影　木津　みね（高・拝戸）

湖西路を　訪ねる友に　初時雨　粂　洋一（新・太田）

金免許　ベルト忘れて　青に成り　土井登美雄（安・三尾里）

あでやかな　夕焼けに染まりし　棚田の里　川端　昭子（高・畑）

久々の　寺院巡りで　身を清め　高橋レイ子（高・鴨川平）

美女見詰め　何処見てんのよ　妻叱る　髙橋　久一（新・薹園）

秋空の　輝く星に　幸ありや　松本せつ子（マ・海津）

黄金の　稲穂出そろい　赤とんぼ　山本　節子（朽・雲洞谷）

老いの坂　ボケない音頭　高らかに　八田　信子（高・高島）

鉤裂きに　馴れぬ手付きで　針を持つ　平井　弘美（安・長尾）

秋仕舞い　終えた田んぼに　赤蜻蛉　井上　善三（今・浜分）

風も秋　空の青さに　黄金波　梅村フサ江（安・藤江）

古希越して　大盆踊りに　音頭とる　梅村金次郎（安・藤江）

「ひつじぐさ」　紙面一枚　皆に喝　桂田　治美（今・福岡）

母見舞い　うしろ髪引く　帰り道　寺尾　輝代（新・北畑）

縁側で　昔を偲ぶ　月見酒　青木　満春（今・角川）

寒村に　山鳥かくれ　そばの花　鈴木　繁（今・角川）

★投稿方法

郵便またはEメールで、投稿者氏名・住所・連絡先を書き添えて投稿してください。また、応募は一人1点とし、作品や氏名には必ずふりがなをお願いします。**次回締切は12月31日**で、掲載は2月1日号・3月1日号です。

（秘書広報課）

広告募集中！　あなたのお店や事業の広告を出しませんか？

■掲載料：１か月（１発行号限り）10,000円／１枠
■１月１日号掲載分の締切：１１月２５日（火）
■問合・申込先：秘書広報課　TEL２５−８１３０
※ホームページの広告もご利用ください。
　１枠１か月　15,000円

有料広告

交通事故、相続、借金、離婚、不動産 etc
気軽にご相談ください
相談料 5000円（60分）
多重債務の相談は 無料
大津市中央 3-4-28
（県庁前郵便局の向かい）
ご相談受付ダイヤル
077-524-6981
弁護士法人 おうみ法律事務所
http://www.ohmi.lawyers-office.jp

市長日記

お陰さまで藤樹先生生誕４００年記念事業の全てが実現しました。皆様のお力で盛大かつ意義深く３５０年祭以来の大事業は一つ一つと成し遂げられました。「良知のこころに生きる」をテーマにした市の主催事業、市民の皆様による協賛事業は50を数えます。それらを実行してくださる皆さんの姿に、生まれながらに備わる美しい心が顕れていました。歌う（謡う）ことも演じることも、花を植えることも、トイレを掃除することも、全てが聖人の行いです。比叡山では、「国宝とは何物ぞ。宝は道心なり。」と伝えています。テレビで報道しない日常の愛と敬の行いこそ本当の宝物であり、仕合わせの種です。「節から芽が出る」と教えられました。有り難い出会いの数々に感謝申し上げます。

昨年、童門冬二先生をアドバイザーに迎え、先人の遺訓を現代の糧にしようと11自治体で嚶鳴協議会を発足し、今年は高島市がフォーラムのホストになりました。４００年前に生まれた藤樹先生の教えと生き方は、『言志四録』の佐藤一斎や吉田松陰の先生で知られる佐久間象山にも影響を与え、多くの志ある人々に受け継がれ、今日につながっていると実感しました。

江戸末期、徳川幕府の昌平坂学問所の学長を努めた一斎が「私淑する中江藤樹先生」と小川村を訪ねたのは50歳の時で、故郷の岐阜県恵那市から京都に行く途中だったとのこと。その時「士民今尚礼譲に篤く、問わずして君の郷を知る」と揮毫されたようです。

二宮尊徳の故郷、神奈川県小田原市長の参加をきっかけに二宮尊徳の長男尊行のもとに、高島の大溝藩分部家江戸詰留守居役　三宅頼母の娘鉸子さんが請われて１８５２年に嫁いでおられることが話題になりました。家事の切り盛りも見事な上に、舅の尊徳の秘書の仕事もこなし功績大であったと記録に残っています。日の出と共に働き始める舅の教えを手本に生きた鉸子さんに、とても興味が湧いてきます。

また、釜石の近代製鉄の功労者、大島高任を敬愛する市教委の方が、そこは高島町の小野組が開いた鉱山で、ご当地と大変縁が深いと話しかけてくださいました。高島商人の雄、小野善助は岩手県盛岡を拠点に事業を展開し、小野組一門は現在の日銀が創業するときに、三井財閥と共に当時のお金で百万円を出資した記録が残っています。商工業に携わる方々も全国に仕事と顧客を開拓した高島商人の気概に触発されると、自分はチャンスの中にいることが見えてくるかもしれません。嚶鳴フォーラムは、佐藤一斎の故郷、恵那市に引き継がれました。

スポレク滋賀で全国から訪れた選手達が、高島は、自然も人の心も飛び切り美しいところで活気が違うと評してくれました。仕合せの門、チャンスの扉は何時も開いているのかもしれませんね。

海東英和　拝

チャレンジ！省エネ長者作戦

毎日の生活の中で節電などの省エネを心がけることは、地球にやさしく家計を助けることにもなります。

このコーナーでは、家庭で簡単にできる省エネを紹介します。

いろいろ試そう「片付け」の省エネ！

余分なエネルギーまで洗い流していませんか？

1. 食器を洗う時は、湯沸し器の**設定温度をなるべく低温にしましょう。**

2. 電気ジャーポットの**保温は必要な時に再沸騰しましょう。**

3. 電気ジャーポットを長時間**使わない時は、プラグを抜きましょう。**

4. 残ったご飯は**炊飯器で長時間保温しない。**レンジで温めたり、新たに炊きあがった炊飯器に入れて蒸気で温め直しましょう！

5. 意外な差が出る、食器洗い乾燥機の活用

手洗いよりも食器洗い乾燥機の方が年間8，960円お得！

手洗い…
・ガス　81・62㎥／年間
・水道　47・45㎥／年間

食器洗い乾燥機…
・電気　525・20kwh／年間
・水道　10・80㎥／年間

を比較した場合

◆出典　上手にいただきます食の省エネbook（財団法人／省エネルギーセンター発行）
http://www.eccj.or.jp/dict/

（環境政策課）